

●2018年3月期第1四半期決算 連結業績概要

単位:百万円(百万円未満切り捨て)

科目	2018/3-1Q 実績	2017/3-1Q 実績	増減	増減率	2018/3 予想 (2017/5/10公表)
ビル事業	110,344	111,632	△ 1,287	△ 1.2%	497,000
生活産業不動産事業	22,570	19,826	2,744	13.8%	105,000
住宅事業	72,135	70,844	1,291	1.8%	423,000
海外事業	10,827	20,540	△ 9,712	△ 47.3%	95,000
営業収益	234,217	242,147	△ 7,929	△ 3.3%	1,200,000
ビル事業	32,016	32,632	△ 616	△ 1.9%	140,000
生活産業不動産事業	6,414	5,327	1,087	20.4%	26,000
住宅事業	△ 1,022	1,269	△ 2,291	△ 180.5%	20,000
海外事業	2,346	11,475	△ 9,128	△ 79.5%	23,000
営業利益	35,843	47,340	△ 11,496	△ 24.3%	195,000
経常利益	31,645	45,219	△ 13,573	△ 30.0%	171,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17,933	27,400	△ 9,466	△ 34.5%	108,000
EBITDA	58,708	69,453	△ 10,745	△ 15.5%	282,500

<要旨>

【全体】2018/3-1Qの業績は、前年同期比で減収減益。ビル事業における賃貸収入・利益の増加があるも、ビル事業、住宅事業及び海外事業におけるキャピタルゲイン等^{*}の減少等が主な要因。各セグメントにおける前年同期比増減の主な要因は下記の通り。

※キャピタルゲイン等：分譲住宅を除く物件売却益や一過性利益等。

【ビル事業】前年同期のキャピタルゲイン等の反動減があるも、新規ビルや既存ビルの賃貸収入・利益の増加により、営業収益・営業利益ともにほぼ横ばいとなった。

(空室率)丸の内の新規ビルにおいて解約が発生したため、全国全用途、丸の内事務所ともに空室率が上昇した。尚、当該解約は期初の予想に織り込み済みであり、跡貸しも想定通り順調に進捗しているため、期末の予想に変更はない。

(平均賃料)丸の内において賃料の増額改定があるも、再開発予定ビルの期間限定貸付の影響により、ほぼ横ばいとなった。

		2017/3 実績	2017/6 実績	2018/3 予想 (2017/5/10公表)
空室率	全国全用途	2.93%	3.55%	3.0%
	丸の内事務所	2.42%	4.19%	
平均賃料(全国全用途)		25,842 円	25,722 円	26,000 円

【生活産業不動産】前期第2四半期に連結化した子会社の通期寄与、アウトレット事業の好調の影響等により増収増益となった。

【住宅事業】分譲マンションの売上増加があるも、キャピタルゲイン等の減少等により増収減益となった。

【海外事業】前年同期のキャピタルゲイン等の反動減により、減収減益となった。

●2018年3月期 連結業績見通し

2017年5月10日の公表数値から変更なし。

注意事項

本資料および決算短信、FACT BOOKに記載される業績予想に関しましては、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要素により異なる結果となり得る事を、ご承知おき下さい。

決算短信、FACT BOOKは当社HPよりご参照ください。

◇<http://www.mec.co.jp/j/investor/irlibrary/materials/index.html>

以 上